

がんプロ大学院生募集中!

大学院生募集 令和8年度 公立大学法人和歌山県立医科大学
大学院 保健看護学研究科 (博士前期課程)
がん看護専門看護師コース
※長期履修制度を活用し、3年間で単位取得を目指します。

【募集要項】

1. 入 学 期 日： 令和9年4月1日
2. 募 集 人 員： 若干名
3. 入学志願者資格： 次の全てを満たす者
(1) 大学を卒業した者、又は、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者（事前出願資格審査あり）
(2) 「看護師免許」を有し、がん看護の実務経験が3年以上あること
4. 出 願 手 続： 出願者は、所定の提出書類を取り揃えて本学保健看護学部事務室に郵送すること。
5. 学 費 等： 入学金 282,000 円 授業料 535,800 円
(毎年5月、11月の2回に分納する。) 他
6. 受付及び試験
事務取扱場所： 〒641-0011 和歌山市三葛 580
和歌山県立医科大学保健看護学部事務室 TEL (073) 446-6700

詳細はホームページでご確認ください。
<https://www.wakayama-med.ac.jp/nyushi/daigakuin-hokenkango/boshuyoukou.html>



本コースでは、勤務しながら通学を希望する学生の方々に広く門を開いております。勤務終了後の授業への対応は、個々の学生さんと面談し、フレキシブルに対応しております。実習に関しては、連続し臨むことが必要となります。職場との調整を入学前に行っておくことが必要となります。

実習Ⅰ 2週間 (2年後期) **実習Ⅲ 3週間 (3年前期)**
実習Ⅱ 3週間 (2年後期) **実習Ⅳ 2週間 (3年後期)**
実習期間は、その都度フィールドと調整し変更します。

*入学することは目標ではなく、フィールドでどのように活躍したいのか、卒業後のビジョンをしっかりと持って臨んで下さい。

がんプロフェッショナル養成プラン がん看護専門看護師養成コース

「がん専門医療人材 (がんプロフェッショナル)」養成プランとは

がんは、我が国の死因第一位の疾患であり、生涯のうちに約2人に1人が、がんにかかると推計されるなど、国民の生命及び健康にとって重大な問題となっており、新たながん対策が求められています。

「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プランは、大学間の連携による「がん医療人材養成拠点」において、各大学の特色を生かした教育プログラムを構築し、優れた「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」を養成することで、我が国におけるがん医療の一層の推進を目的としています。

和歌山県立医科大学は、大阪大学を中心に、兵庫県立大学、京都府立医科大学、奈良県立医科大学、森ノ宮医療大学と共同でこの養成プランを実施しており、これら6大学がそれぞれの特徴を生かして連携することにより、がん専門医療人材を養成し、地域のがん医療の向上を図ることを目的としています。

本学には、従来より、緩和医療専門医養成コース、がん薬物療法専門医養成コース、がん看護専門看護師養成コースが設置されていますが、令和5年度には病理診断科育成コース、がん医療ビッグデータ活用ベーシックコース(インテンシブコース)が、令和6年度よりがんリハビリテーション看護インテンシブコースが、令和7年度には薬学部のがん薬剤師養成コースが新たに開設され、さらに充実した研修内容となっています。

「資格取得の流れ」

看護師の資格取得後、通算5年以上実務研修をしていること。そのうち通算3年以上は専門看護分野(がん看護)の実務研修であること。

大学院修士課程において、専門看護師教育課程の所定の単位(26単位以上)を取得した者。日本看護系大学協議会により認定された専門看護師教育課程の有効期間内に取得した単位が26単位以上あること(科目等履修による取得含む)。2024年からは、38単位でのみ申請可能となる。和歌山県立医科大学がん看護専門看護師コースは、修了要件を46単位としている。

認定審査(2025年第35回専門看護師認定審査『認定の手引き』参考)
6月: 審査申請 10月: 筆記試験 12月: 合否発表

専門看護師認定証交付(合格者): 翌年2月
その後は、5年毎に更新(看護実践の実績、研究業績等書類審査)

当コースでは、和歌山県がん看護専門看護師症例検討会への参加、卒業後も継続したフォローアップを行い、資格取得や論文投稿の支援をしています。卒業生は、研究生、博士後期課程に進学し継続して学びを深めています。

がん看護専門看護師コースでは、がん看護におけるスペシャリストを養成することを目的として開設しています。単に、高度な技術を習得し理論を活用した看護の介入ができることではなく、時代背景、社会のニーズに目を向け、患者さまから期待され求められるスペシャリストの育成を目指しています。このナースさんに頼りたい、このナースさんに相談すれば、希望を見出すことができる、そんな看護師と一緒に目指していきましょう。

当コースのスケジュール

**3年間の長期履修！
夜間開学で働きながら学べる環境！**

web授業随時 (Teams)

1年次および2年次： 共通必修科目・共通科目A/B 共通選択科目・専門科目

共通必修科目：保健看護学研究法 英語文献講読 保健看護情報統計学

共通科目A：看護教育論 看護管理論 看護理論 コンサルテーション論

共通科目B：臨床薬理学 フィジカルアセスメント 病態生理学

共通選択科目：保健看護学概論 健康マネジメント政策論 ヘルスケアエシックス
健康測定評価論 健康栄養学 家族看護学 医療と法

専門科目：がん看護学特論Ⅰ がん看護学特論Ⅱ がん看護学特論Ⅲ
がんリハビリテーション看護A がんリハビリテーション看護B
緩和ケアA 緩和ケアB

*長期履修制度の利用は最長4年となります。通常の授業料(2年分)を履修年数で割り、前期と後期に分納となります。
また、大学院生の研究に関する補助資金制度を設けております。

2年次：実習

実習Ⅰ：2週間(2単位)

施設：和歌山県立医科大学附属病院
内容：役割実習

実習Ⅱ：3週間(3単位)

施設：和歌山県立医科大学附属病院
内容：課題実習

3年次：実習

実習Ⅲ：3週間(3単位)

施設：和歌山県立医科大学附属病院
内容：包括的指示に基づく「臨床判断
および身体管理」医師の診療の理解

実習Ⅳ：2週間(2単位)

施設：和歌山県立医科大学附属病院もしくは、
学生が希望するフィールド
内容：統合実習
がん看護専門看護師として実践

がんは、我が国の死因第一位の疾患です。がん対策基本法の施行を皮切りに、手術療法、放射線療法、化学療法そのほかのがん医療に携わることが、各都道府県の中核を担う施設の役割となりました。このような背景の中で、がん看護専門看護師コースは、2014年に開設されました。和歌山県立医科大学は、都道府県がん診療連携拠点病院として、地域施設と連携し、いつでもどこでも質の高いがん医療を提供するための教育や指導を行う役割も有しています。専門的な高い知識と技術を兼ね備えた医療人(教育ができる力、実践力、調整力、相談への対応力、倫理的視点での問題解決力、研究への取り組み)を育て、地域の皆様、がん患者様の身体的・精神的な苦痛を理解し、がん患者やその家族に対してQOL(生活の質)の視点に立った水準の高い看護を提供できることを目標としています。

コース責任者：教授 山田 忍



がん看護学に関する講義では、フィールドでの疑問を解決するために、理論的基盤を培う学びを深めます。がん患者・家族、多職種を含め高度な関わりを身につけるために、フィールドで活躍しているがん看護専門看護師の講義を取り入れ、様々な視点での対応力を養います。

フィールドでの実習は、2年次に2クール、3年次に2クール、計4クール10単位の履修となります。患者・家族、スタッフ間、多職種との連携や調整力・実践力を身につけるための専門的な思考過程の教育・指導を行います。

また、症例検討会、がん看護に関連した研修会、学会や研究会への参加・発表を行っていただきます。

そして、外部助成取得への支援、論文による実践内容等がエビデンスとして可視化されることを目指し、成果を挙げています。



がんリハビリテーション看護インテンシブコース



外部助成獲得への取り組み、
博士後期課程での継続した研究支援

～学生の一言～

**「人生に伴走させて頂くために、
全力でがん看護を探求したい！」**

がんと向き合う患者さんと真摯に向き合うには、専門的ながん看護が提供できる専門看護師に・・・と考えていました。その私の背中を先生が押してくださいました。学びは大変ですが目標とする先生や共に頑張れる仲間がいます。出会いは必然! 是非一緒にがんばりましょう。